

## 第26回総会が開催されました F A M I C 神戸センターで

当協議会の第26回総会が、7月16日に神戸市中央区港島南町の農林水産消費安全技術センター(略称F A M I C)神戸センターで開催されました。本総会は例年、大阪のK K Rホテルで開催していましたが、同センターが、今年4月にこれまでであった大阪事務所と岡山事務所を神戸センターに統合、同時に現在の所在地へと移転しましたので、今回は見学も兼ねて同センターでの総会を企画。F A M I C様のご好意で開催となりました。

来賓として、F A M I C神戸センターの寺野重造所長等にもご出席いただきました。

総会は60社中、出席20社、委任状提出28社で、過半数を満たして成立。

小塚純一副会長による司会進行で、寺野所長の来賓祝辞、宮本一光会長のあいさつに続いて議案審議に入りました。

議案は①平成20年度事業報告②同年度決算報告、同監査報告③21年度事業計画案④同年度予算案⑤報告・依頼事項について審議し、いずれの議案も異議無く承認されました。今年度の事業計画としては、会員の為の「肥料取

締法改正点の説明会」、肥料・用土の安全な利用に関する普及・啓発活動などを、引き続き開催していくことを決定。新会員の獲得にも力を入れていくことになりましたので、皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

また、現在の事業活動の状況をかながみ、組織構造の見直しを図りました(4ページ参照)。

総会終了後には、F A M I C神戸センターの泉和夫肥料検査課長による同センターの紹介と、日本放送出版協会の編集局家庭編集部「趣味の園芸ビギナーズ&やさいの時間」の加藤雅也編集長による講演会「なぜ今、野菜なの」が行われました。野菜作りが都市生活で失われた人間関係の回復に役立つという加藤氏のお話は、我々にとっても大変興味深く、園芸の新たな分野として育てていこうと皆さん熱心に拝聴されていました。



### 宮本会長あいさつ



今年の総会は、農林水産消費安全技術センター神戸センターが、この4月に改組されましたことから、大阪を離れ神戸で開催することになりました。ご協力を賜りましたF A M I C神戸センターには、改めて御礼を申し上げます。

昨年の7月に就任して、任期の折り返し地点に、理事各位をはじめ会員各社、事務局のご協力を得て、これまでやってこられたことに感謝を申し上げます。昨年の今頃は、原料・燃料価格の暴騰に見舞われ、そのピークがまったく見えず、先行きに不安を抱えていた状態でありました。その後、9月のリーマンショックに伴う金融危機では「日本の銀行の痛みは小さい、日本経済への影響は欧米に比べれば比較的小さい」と言われたのも束の間であります。輸出に大きく依存する日本経済の痛み大きさは、世界の中でも大きく、深く、昨年10~12月、今年の上半期は自動車・電機関係の生産調整・在庫調整の対応は、過去にないスピードと大きさでした。その対応の早さが、現在の回復基調と言われているものに繋がっているものとは思いますが、到底過去のレベルに達することは難しいのではないかと思います。

そんな中で、我々、家庭園芸業界は健闘しているのではないかと思います。総務省の1~5月の『家計調査』では、消費支出全体では前年比97.5%、その中で園芸品・同用品は95.2%と全体の比率を下回っています。一方、D I Y協

会のまとめによるホームセンターの園芸・エクステリアの関係では、1~5月の売上げは104%と上回っており、まったく反対の数字が出ています。いろいろな話を聞く限りでは後者の数字の方が実態にあっているのではないかと、判断しています。そういう意味で、今回の不況の影響は(園芸業界は)あまり受けておらず、健闘していると言った次第です。その要因の1つは、昨年来顕著に見られる家庭菜園の浸透。これが『安心・安全』をキーワードに、自分で作り、自分で消費する、花より団子ならぬ、花より野菜ということになっています。2つには、不況の影響による所得の減少であり、安近短の消費傾向にあるといわれています。ガーデニングは安上がりで、時間も潰せるので、それに最も向いているのではないのでしょうか。

### 不況に負けない家庭園芸 更なる発展へ期待

最近の新聞によれば、アメリカのオバマ大統領のミシェル夫人が、ホワイトハウスで家庭菜園にいそんでいるという記事がありました。アメリカでは家庭菜園がブームで、

対前年比で20%以上の伸びを示しているという記事でした。欧米の流行は、割合日本に反映されやすいという流れがあります。日本のマスコミの取上げ方次第では、大きな期待をしてもいいのかもしれない。

こうした家庭園芸のフォローウィンドを是非活かし、同時に自らの力で家庭園芸のますますの発展を成し遂げたいものです。野菜や花を作るための肥料・用土を作るメーカー、その他の関連する企業の集う団体として、品質のしっかりとした安全な肥料・用土を供給して、トラブルもチャンスとして活かすように持っていきたいものです。

# FAMIC ( 独立行政法人農林水産消費安全技術センター ) について

独立行政法人農林水産消費安全技術センター(FAMIC)は、平成19年4月にそれまでの農林水産消費技術センター、肥飼料検査所、農薬検査所の3法人が統合して発足しました。今回、総会でお世話になった同神戸センターは、大阪事務所と岡山事務所を神戸センターに統合した上で、今年4月に現在の建物(神戸市中央区港島南町1-3-7:ポートアイランド内)へ移転しました。

この機関の目的は、肥料、農薬、飼料、ペットフード、食品等に関する検査・分析等を効率的・効果的に推進し、国民の視点に立った一元的な情報や、質の高いサービスの提供を行い、食品等の安全・安心に貢献することです。

我々に直接関係のある「肥料の安全性と品質の確保」に関しては、次のようなものがあります。

## 【肥料取締法に基づくもの】

▶肥料の登録及び仮登録の申請に関する業務＝生産業者又は輸入業者から提出された肥料について、登録(仮登録)申請書の記載事項の調査及び肥料の見本についての分析・鑑定又は栽培試験等を行い、公定規格への適合性等を判断する調査を実施。

▶肥料の立入検査に関する業務＝農林水産大臣の指示により、肥料の生産事業場、倉庫等に立ち入り、肥料及び原料、業務に関する帳簿書類についての検査や、肥料の収去を行います。収去した肥料は、有害成分等が公定規格に適合しているか、表示されている成分量が適正か等について、分析・鑑定又は栽培試験等の検査を行い、その結果を農林水産大臣に報告。検査の結果、法令等に抵触するものが認められた場合は、関係者への技術的指導を行っています。

▶肥料公定規格の設定等に関する業務＝公定規格は、安全性に対するニーズ等を受けて新たな設定や変更が行わ

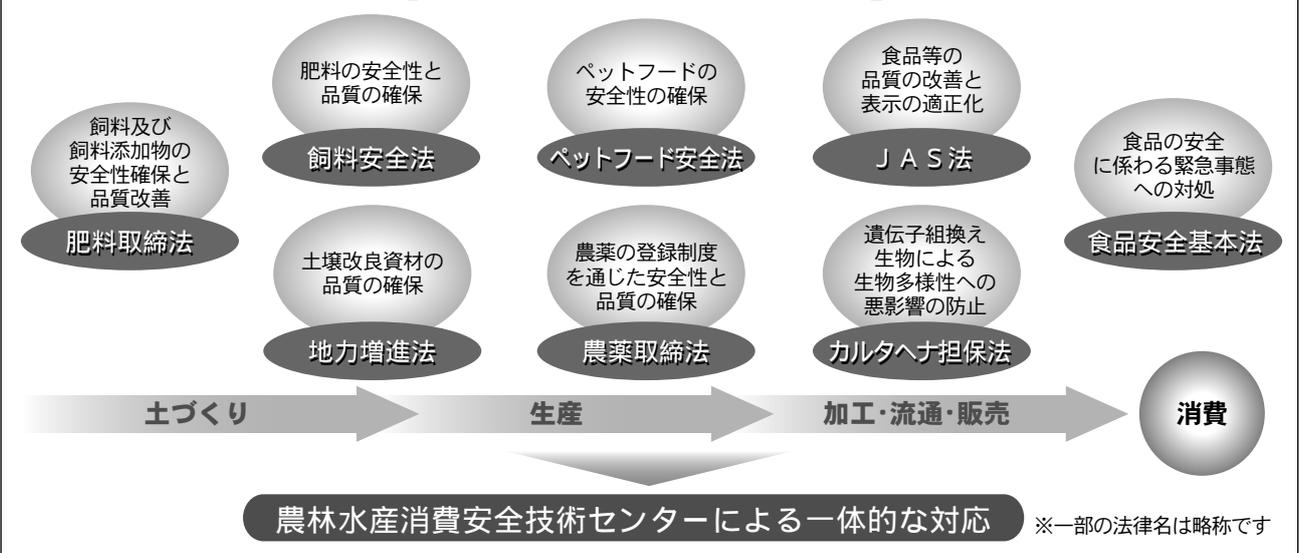
れるため、新たな知見に基づく規格の見直しのための調査や、肥料生産業者等から規格改正の申し出があった場合に、肥料の安全性や効果について技術的な面から確認調査を実施し、その結果を農林水産大臣に報告します。

## 【地力増進法に基づくもの】

▶土壌改良資材の立入検査に関する業務＝土壌改良資材の品質に関する表示の適正化について、農林水産大臣の指示により、製造事業場等に立ち入り、土壌改良資材及び原料、帳簿等についての検査を行っています。土壌改良資材の表示事項が適正か、理化学的試験により確認し、検査の結果、法令等に抵触するものが認められた場合は、関係者への技術的な指導を行います。

この他に、飼料、ペットフード、食品(有機JASの認定団体への検査等)が調査対象になります。また、神戸センターでは農薬の検査はしていないようですが、JAS法の関係で材木の検査などもされているそうです。(事務局)

## [ FAMIC が対応する法令 ]



## 肥料・用土Q&A

Q. 用土について、品質表示の基準はありますか



A. 家庭園芸用肥料・用土協議会では、『消費者にとって解りやすい基準』として、図のような推奨表示をおこない情報提供を行っております。

商品に、適用植物名、内容量、主な配合原料名、肥料配合の有無、pH、EC、製造業者および連絡先などの表示があり、責任の所在が明確になるように基本情報項目を定めました。

当協議会会員各社では商品の包装に右記のような表示をおこない、品質に関する情報を提供しております。

	家庭園芸用培養土	草花の土
運用植物名	アセギナ、カラー、チーリップ、バーベナ、パンジー、ビオラ、ペチュニアなど草花、鉢花一類	
内容量	5L以上	
主な配合原料名	ピートモス、赤玉土、鹿沼土、パーライト	
肥料配合の有無	有(緩効性・速効性)	
pH	6.0±0.5(または5.5~6.5と表示)	
EC(mS/cm)	1.0以下	
製造業者	〇〇園芸株式会社 大阪府〇〇区〇〇〇〇 電話番号05-6〇〇〇-〇〇〇〇	
	家庭園芸肥料・用土協議会会員	

# 「なぜ今、野菜なの」

日本放送出版協会 編集局 家庭編集部

「趣味の園芸ビギナーズ&やさいの時間」編集長 加藤雅也氏

大きく分けて2つのお話をしたいと思います。1つは個々人にとって、自分で野菜をつくることの意味はなにか。もう1つは、個々人が野菜作りの体験を積み重ねることの社会的な意味はなにか。結論を先に言うと、野菜作りは現代社会で失われつつある(人間同士の)関係性の回復に役立つきっかけになるという気がします。

## ▶ 環境問題と野菜ブーム

野菜ブームの時代背景には、環境保護への関心、食の安全への関心の高まりがあります。

ご存知のエコマークは1989年にスタートしました。財団法人日本環境協会が一定の条件を満たした製品やサービスに限って使用を許可するも、その2年後の1991年にはリサイクル法が施行されました。リサイクル法はその後、2000年の「循環型社会を形成する新基本法」の成立によって、全部改められて現在に到っていますが、ここからリサイクルが始まりました。2001年の省庁再編成によって環境庁が環境省になるという流れがあり、そうした制度の整備があって、同時に環境に対する諸条件が醸成されていきました。

野菜ブームに直接的に影響を与えたのは、「スローフード」「ロハス」「エコツーリズム」「カーボンオフセット」「屋上緑化」「緑のカーテン」「オーガニック」といったもので、エコ関連のモノ・コト・サービスが市民権を得た感があります。特に「スローフード」「ロハス」は社会運動としての広まりや思想性があり、野菜作りにも強い影響を与えたと思われます。

スローフード運動は1986年にイタリア北部のピエモンテ州で始まりました。1989年にはパリで国際スローフード協会が設立され、今では全世界に会員が8万人くらいいるそうです。

ロハスは「農産物の生産から消費に到る各段階での、健康で持続可能性を指向するライフスタイル」のこと。単純な環境保護思想やライフスタイルの提案と捉えられがちですが、実はこれは『企業の成長戦略がそのまま環境保護に直結するビジネスモデルを構築しよう』というマーケティングコンセプトです。それを実現している会社は沢山あります(日本のナチュラルハウス、アメリカのパタゴニア、ベルギーのエコベール等)。

次に「安全で安心なもの」を食べたいという思いがあります。2002年の中国野菜の残留農薬問題が、日本社会に与えたインパクトは大きく、有機農業や有機野菜に対する関心が出てきました。そうした状況を背景に、2006年に有機農業推進法が制定され、国として有機農業を推進することになりました。単に残留農薬が基準値内に収まっているというだけでなく、化学肥料や化学農薬を使わない、有機農法で野菜をつくることを国として推進したことはインパクトが大きく、野菜に対する関心、自分で野菜を作る機運が生まれてきたと思っています。

もうひとつは、野菜の「旬」が分かりにくくなってきていることが上げられます。

暮らしを豊かにするための仕組みが、逆に旬という豊かさのひとつを阻害してしまうジレンマが生じたわけですが、逆にそれ故に旬が評価されるという面もあります。旬は気分の問題だけでなく、実際に旬の野菜は栄養価が高いという研究結果もあります。

野菜づくりをしている人の中には、美味しいものを食べたいから自分で作っている人も結構います。そうした人が増えたことで、レストラン業界でも世界的に「有機野菜」や「地元産野菜」が人気になっています。昔はもっと豪華な食べ物にお金を払いましたが、今は逆にこうしたものも売りになる時代になっているのです。

## ▶ 安全・安心だけではない

ようやく本題に入りますが、(レジメに)野菜ブームは本物かと書きましたが、本物であるというデータをそこにいくつか上げました。今年の春は「トマト戦争」などと言われ、お客さんが園芸店やガーデンセンターにいっぱいやってきました。矢野経済研究所の調査では、2008年度の家庭野菜向け野菜苗の出荷額は、対前年比で16%増の115億円とまとめています。市民農園の開設率も、平成6年の1039カ所から、平成20年末には3273カ所

約3倍になっています。内訳を見ると、ほとんどが都市部に出来ています。体験農園の数も平成20年末で、東京都内で57カ所。もともとは都市農家の生き残り戦略から始まったのですが、時代のニーズ、使う側のニーズにも合って一気に広がりました。

## ▶ ナゼ野菜なのかといえば、中国野菜の残留農薬問題に端を発し、食の安全・安心に関心が高まったのが1つの要因でしょう。

有機無農薬栽培に対する関心、安全で安心なものを食べたいという関心、そういったものがあって野菜ブームになりました。

では、安全で安心でエコだから野菜を作るのかといえば、それだけで野菜を作るわけではないようです。実際に野菜づくりを実践している人が口にするのは、採りたての新鮮さを味わえる他に、野菜が大きくなっていくのを見る楽しみ、家族や友人と一緒に野菜を育てる楽しさ、手塩にかけた野菜を自分で食べる楽しさ、スーパーでは売っていない珍しい野菜が食べられる楽しみ等があります。そういったお題目でない楽しみがある時、人間は行動します。それが大きなモチベーションになっているのです。

2005年の東京都内体験農園の利用者を調査したデータでは、全ての世代を合わせると、体験農園利用者の60%以上が家族や仲間など、誰かと一緒に野菜作りを楽しんでいます。30~40代に限れば8割以上になります。(野菜は)手数がかかることもあるが、それによって1人では出来ない楽しみ方ができるのです。

自分で野菜づくりをすることの意味は、「食育」の最高の機会です。子供と一緒に野菜づくりをすると、野菜がどう育っていくのか全部プロセスを見ることが出来ます。それを見た状態で食べる野菜は、単に買った野菜を食べるのとは意味が違います。自分が育てた野菜には、育てたプロセスが物語としてそこに入っているから、それを含めて美味しい。野菜は単なる「商品」ではなく、「自分の手で生み出した果実」と捉えられます。

## ▶ 野菜づくりで社会は変わる

大上段に構えましたが、野菜づくりは社会を変える可能性があると思います。

昔は、家庭でもカマドでご飯を炊く、マキでお風呂を沸かす等、1人では出来ないので家族で力を合わせてやっていました。しかたなくて家族は協力するのですが、結果として家族関係を強化する装置として機能していました。

現代社会は非常に便利になりましたが、失ってしまったものもかなり大きいと思います。そうした(昔の)経験があって大人になった人はいいが、子供の頃からボタン1つで済んでしまっただけで、なかなかコミュニケーションを豊かにとれない子供になります。これはその子が悪いのではなく、仕組みが悪いのです。本当にささやかなものかもしれませんが、野菜づくりが日本中に広がっていけば、今より少しは社会が安定するのではないかと思います。

昔の商店街などのお店では、売り買いする関係の中にも人間の社会を安定化する要素が、自然に存在しました。それが今は便利にしようとして大きなスーパーが出来て、はたと気づいたら昔あった人間関係はどこに行ってしまったのか、という状況になってしまいました。

我々は便利を追求した結果、その便利は獲得しましたが、結果として失ったものはかなりあり、若干(社会に)問題が出てきたという感があります。野菜づくりが、そのスイッチをちょっと変えるきっかけになればいいと思っています。

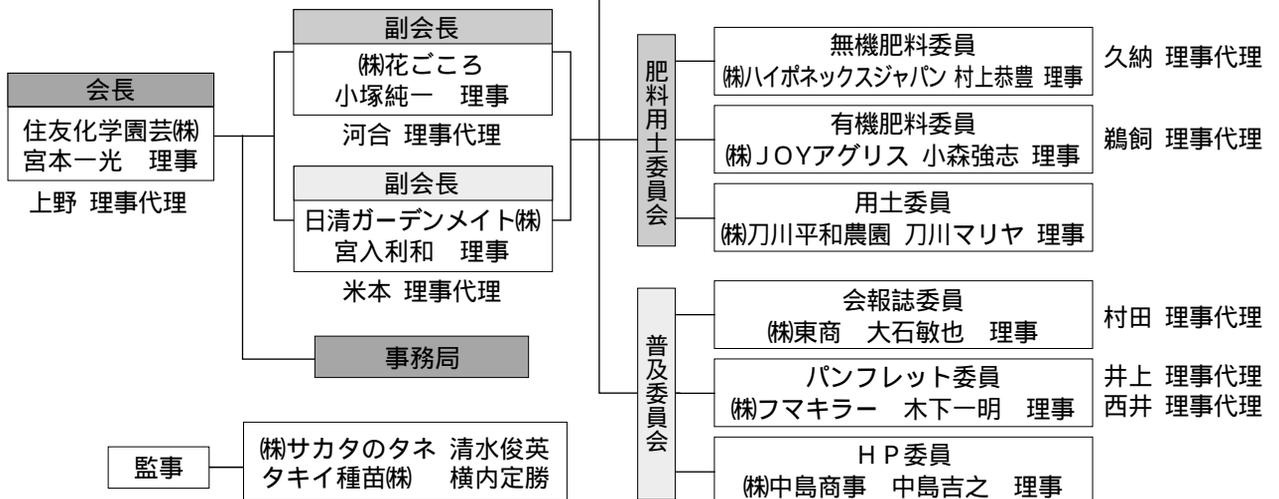
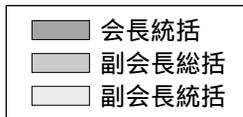
少しでも多くの方が、自分たちで野菜を作って、できれば友達と、家族とコミュニケーションをとりながら、時には嫌がられながらも、ご近所にお裾分けするのも結構いいことかなと思います。

映画「オールウェイズ 三丁目の夕日」や「寅さん」などには、単にノスタルジーだけでなく僕らが失った人間関係の妙味のようなものがあります。それを取り返せば社会も少しはよくなるのではないのでしょうか。野菜づくりがその一助になればよいと思っています。(文責事務局)



# 家庭園芸肥料・用土協議会 組織図

(敬称略)



## 会 員 紹 介

毎回、会員リスト掲載順に紹介していきます

### 株式会社グリーンテック

〒322-0015  
 栃木県鹿沼市上石川1866-32  
 TEL0289-76-3365  
 FAX0289-76-3364  
<http://www.gr-tec.com>

#### 自己紹介

明日の農業・園芸の未来を見据える洞察力で、私たちは次代を語ります。グリーンテックの事業展開は、安心・安全をテーマにし、常に消費者の立場に立った商品開発に努めています。家庭菜園初心者でも失敗することなく育てられる品種別有機培養土や肥料を提供し、自らの手で育てる楽しみと家族で収穫する喜びを味わっていただきたいと思いつつ、続けています。これからも消費者に支持されるメーカーであり続けたいと考えております。

#### 自己紹介

安全・安心をお届けする、園芸用土・農業資材総合卸メーカーとして、お客様の立場に立った商品を日々開発しております。弊社の培養土は、300 高温熱処理済み、自社農場にて生育栽培試験済み、土とたい肥を長期間堆積させた堆積培養土。この3つの柱を軸に、オンリーワンの商品で更なる世紀を緑いっぱいの地球にしていける為、環境問題にも真剣に取り組むグローバル企業であり続けたいと考えております。

### 菊池産業株式会社

〒329-2805  
 栃木県那須塩原市上横林260  
 TEL0287-35-3282  
 FAX0287-35-3287  
<http://www.nas.ne.jp/usr/kikusan>

## 事務局より

#### ● 入退会報告

退会 = 株式会社三浦グリーンビジネス、株式会社ガーデナー  
 入会 = 近畿農産資材株式会社、株式会社エイ・シー・エム、株式会社グリーン産業、有限会社タカムラ  
 会社名変更 = キング化学株式会社から株式会社白元に変更

家庭園芸肥料・用土協議会は、家庭園芸の安全で健全な振興のために、メーカー企業有志により昭和59年に設立されました。

## 家庭園芸肥料・用土協議会

〒650-0041 神戸市中央区新港町14-1 財団法人日本肥糧検定協会関西支部気付  
 TEL 078-332-6491 FAX 078-332-6545 <http://www.a-hiryoyoudo.com/>